

R40502 番町小 朝礼講話④

【児童への話】

5月に入りました。最近、休み時間に校長室に遊びに来てくれる子がたくさんいて、静かにお行儀よく、楽しそうに遊んでいる皆さんを見ると、校長先生はとても嬉しいです。

さて、5月は日本の古い言い方で「皐月（さつき）」です。もとは、農作物をつくる作業のことを「さ」というひと文字の言葉で表していたことと、お米作りが始まる月であることを合わせて、皐月という名前になりました。また、5月を英語で言うと「May（メイ）」ですね。アニメ映画の「となりのトトロ」に出てくる姉妹は さつきちゃん と めいちゃん ですので、ふたりともこの5月を意味する名前になっています。このアニメは、家族のお引越しの場面から始まり、田植えをする人々が描かれていて、5月が強く印象に残る、校長先生が大好きな映画です。

今、5月（皐月）の名前の由来をお話ししましたが、自分が「なんでだろう」「不思議だな」と思うことは、自分から積極的に調べてみてください。疑問をもてる子は、かしこい子です。一日ひとつ、かしこくなってくださいね。それでは、児童集会を始めましょう。

【本講話について】

児童集会前のショートバージョン講話です。皐月の「皐」の字ですが、会意文字として『白い光のさす大（台）地』を表すとも、象形文字として『獣の頭と四肢の白い骨』を表すとも言われています。漢字の成り立ちを調べる学習にもつなげられる内容です。

都心に暮らしていても、季節の移り変わりを豊かに感じ取れる子になるよう、このような講話を月初めに入れていきます。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。